

① 学習指導案

プログラム	No. 10 「効果の風景を見つめてみよう」
単元名 (全 時間)	きれい！いやされる輪！竹とうろう150プロジェクト ～大岡小150周年と地域をつなぐ竹とうろうのデザインを考えよう～
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌に描かれている情景を知ることを通して地域のよい景観を発見し、地域への愛着心を育て、まちの環境を大切にしていこうとする。 ・取材を通して地域の特色について考える。 ・地域の景観の特色やよさを竹灯笼のデザインに表現し、自ら作り出す喜びを味わい、創造的に表現する。 ・150周年である大岡小と地域をつなぐ竹灯笼の作成やイベントを開いたりする活動を通して、竹灯笼の良さに気付くと共に、大岡小と地域をつなぐイベントでの活動について考え、自分や学校に関わってきた人々が楽しめる活動を創り出した喜びを実感し、より学校や地域に愛着をもって生活をより豊かにする。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 校歌を通して地域に関心をもち、取材計画を立てる 2 情報収集や取材活動を行い、地域の良さや特色を調査する 3 調査してきたことをまとめ、竹灯笼のデザインを考える 4 竹灯笼を製作する 5 地域の人を竹灯笼イベントに招待し、地域の景観の特色やそのよさについて発表する
参考資料 準備品 実施場所等	地図、学習用タブレット、竹灯笼作りのための電動ドリル 学校、学校周辺地域

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	校歌を通して地域に関心をもち、取材計画を立てる ・本時の活動を知る ・グループで取材計画を立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌について音楽の授業で事前に学習をする ・地域図を拡大し、校歌に現れている情景と地図を照らし合わせる助言を行う ・現地を回るルートは、教師が最終決定を行う ・取材用ワークシートの作成 	活動の意欲 (観察) 取材計画について見通しをもっている(観察・発言)




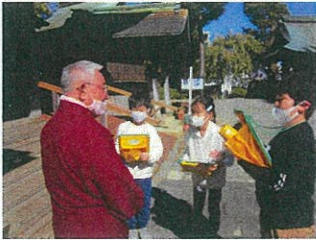

2 ～3	地域へ情報収集をするために まち探検をする ・写真撮影や当時の景観につ いて取材を行う ・情報を記録する	・取材の仕方、メモの取り方の事 前指導を行う ・昔の景観を知っている高齢者か ら話が聞けるようにする	課題追求能力（観 察） コミュニケーション 能力（観察） 情報の記録（ワー クシート）
4 ～5	調査してきたことを学級全体 でまとめ、自分の竹灯籠のデ ザインに生かす ・現地でのメモなどを整理す る ・グループごとに再発見した ことを発表する	・写真や取材メモを整理し、より 多くのことを思い出せるようにす る ・その場所を知らない人にも伝わ るような分かりやすいデザインの 表現になっているかどうかを助言 する ・地域の情報の宝として情報を共 有すると共に、地域の良い景観を 大切にしていくことの意義を確認 する。	表現力（発表・ワ ークシート） 自己評価力 （ポートフォリオ ）
6 ～9	竹灯籠を製作する	・取材したことを生かし、デザイ ンは何度も修正をしても良いこと を助言する ・安全に配慮する	・粘り強く取り組 んでいる（態度）
10 ～ 15	竹灯籠イベントを準備し、竹 灯籠イベントを地域の人に関 く ・地域の景観に馴染む竹灯籠 の設置場所を調べ、設置して も良いか交渉をする ・イベントの準備を行う ・地域の人を招待したイベン トを開く	・竹灯籠が景観を損なうことがな いか、景観をより引き立たせるこ とができるものであるかの視点を 与える ・イベントに向けての見通しがお てるような計画表を作成する ・安全に配慮する	・情報整理（ワー クシート） ・コミュニケーシ ョン能力（観察） 課題追求能力（ポ ートフォリオ）



<留意点>





- ・取材活動を行う時は、交通安全を確保する。時に、観察中の写真撮影など、注意散漫になる場面は特に注意をするように十分配慮する。
- ・竹灯籠作りでは、電動ドリルを使用するため、安全に十分配慮する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立大岡小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	校歌を通して地域に関心をもち、取材計画を立てる ・本時の活動を知る ・大岡小の歌詞について言葉の意味調べをする ・グループで疑問を出し合う ・グループで取材計画を立てる		今まで大岡小学校の校歌の歌詞に注目したことはなかったけれど、よく考えてみると歌詞に大岡小の景色や季節の風景がたくさん入っているね。 竹とうろうのデザインにも参考になるから大岡小の景色を調査してみたいな。
2				
3				
4	地域(校外)	地域へ情報収集をするためにまち探検をする ・写真撮影や当時の景観について取材を行う ・情報を記録する	 	昔のことを知りたいたから、弘明寺観音に行きました。昔は、その近くの川でたくさんの大岡っ子が遊んでいたそうだよ。大岡川の生き物や植物を大切にしていたことが取材から分かった。昔も今も大切にされているんだと思った。 捺染工場が昔は大

				岡川沿いにたくさんあったそうだよ。工場の排水で川が汚れて大変だったから大岡小が鯉を放流して、生き物がいる川をきれいにする気持ちをつくらせたい。取材をして初めて知った。
5 6	教室	<p>調査してきたことを学級全体でまとめ、自分の竹灯籠のデザインに生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地でのメモなどを整理する ・グループごとに再発見したことを発表する 		<p>取材で分かったことをみんなで出し合うと大岡小の昔の風景がよく分かった。今も大岡川の周りで散歩をしたり立ち止まったりしているから、今も大岡小の周りの自然は大切にされているし、これからも大切にしていきたい気持ちが強くなった。</p> <p>大岡小の昔の景色を取材することで地域のことがもっと理解が深まった。</p>
7 ～ 9	教室	<p>竹灯籠を製作する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材をもとにデザインを考える（一人1本） ・竹灯籠を作る 		<p>取材で地域の人々が大切にしている自然を私もこれから大事にしていきたいと思った。竹灯籠に大岡の自然のよさを伝えるデザ</p>

				<p>インにするためにはどんなデザインがいいのか何度も考えました。みんな協力をして、竹とうろう作りができました。</p>
10 ～ 15	教室 弘明寺観音	<p>竹灯笼イベントを準備し、竹灯笼イベントを地域の人に開く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の景観に馴染む竹灯笼の設置場所を調べ、設置しても良いか交渉をする ・イベントの準備を行う ・地域の人を招待したイベントを開く 	  	<p>風景の取材のときにもお世話になった弘明寺観音でイベントを開きたいと思った。それは、弘明寺観音は昔から地域の人がお参りに来たり、大切にされてきた場所だからです。竹とうろうで、地域の人と一緒に大岡小の150周年をお祝いしたい。</p> <p>イベントでは、2回で合計180人くらい来てくれた。地域の人たちの仲を深めるきっかけ作りができたと思う。竹とうろうは人とのつながりを生むことができるんだ。自分も地域の人に自分から声をかけたり、竹とうろうのデザインに込めた思いを伝えることができた。</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>子ども自身が自ら問いをもち、解決していくために、「なぜだろう」「どうしてだろう」を大切に学習展開のデザインをした。1年生の頃から親しみのある校歌から、昔の大岡小の景観に迫ることで、取材をするときの視点が明確になった。また、取材をしたことが一人1本の竹灯籠になることにより、自分のこだわりや思い、取材の成果を十分に発揮できるように工夫した。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>大岡小150周年と歴史の長い学校がゆえに、校歌の歌詞が分かりにくい言葉があった。分からない言葉は、ICTを活用して調べ学習を自ら行っていた。取材で得た情報をもとに、デザインを考えるが、「川」「桜」など、具体物のデザインは考えやすいが、「明るい」「いやされる」などの抽象的なイメージをデザインすることに苦労しているようだった。</p>
<p>(3) 児童の反応 (児童のふりかえりの言葉より)</p> <ul style="list-style-type: none">・今まで何も考えずに校歌を歌っていたけれど、校歌の見方が変わった。校歌の中には、大岡小の昔の風景が入っていて、今も大岡の自然が地域の人たちに大切にされてるのだなと思った。・昔、大岡川のまわりには、捺染工場があることを初めて知りました。工場の水で川が汚れて、それでも子供たちはその川で遊んでいたことに驚いた。今の大岡川は生き物がたくさんいて、きれいだ。大岡小が環境を守るために鯉を川に流したことが環境を守るきっかけになったことがかっこいいなと思った。150周年のその先もずっときれいな大岡川でいてほしいから、自分も大岡川の生き物や自然を大切にしたいと思った。・弘明寺観音の竹とうろうイベントで多くの人に来てくれて、人とのつながりを生むことができた。竹とうろうには、人の心をいやす力があつた。イベントでは、イベントでつながりを生むために考えてきたけれど、人とのつながりは日常の中からも生まれるのではないかと考えた。地域の人にあいさつをしたり、近所のおじいさんに話しかけたりしていきたいです。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>取材を通して、多くの地域の人が大岡小学校と大岡のまちを愛していることが分かった。子どもたちの取材に同行していると、必ず教員である私にも話をしてくださったことが印象的です。どんなに年を重ねても、当時の景色や景観を忘れることはなく、鮮明に覚えているのだなと感じました。何気なく毎日通っている道も、景観を意識することで、歩いているときの気持ちの変化があると考えました。また、大岡小学校で学校教育を行う上で、人々が今も愛しているこの景観をどのように継承していくかを子どもたちと学習する価値があると感じました。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)</p> <p>校歌に意識を向けることが、やや誘導的になってしまったことが懸念される。児童自ら、校歌に昔の大岡の風景のヒントがあるのではないかと気づき、考えるためにはどのような手</p>